

# あしのし 芦野氏ってなにもの？

## 1 中世（鎌倉時代～安土桃山時代）

鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」、建長8年（1256）6月2日条の記事には、奥の大道で盗賊が蜂起したため旅人の警固を周辺の地頭・御家人に命じました。そのなかに「葦野地頭」が記されており、この「葦野地頭」が芦野氏の祖先と考えられています。芦野氏は、南北朝期には那須資忠の子資方を養子に迎え入れ、以後いわゆる「那須氏系芦野氏」が約500年の間、29代続きました。



芦野氏旧墳墓

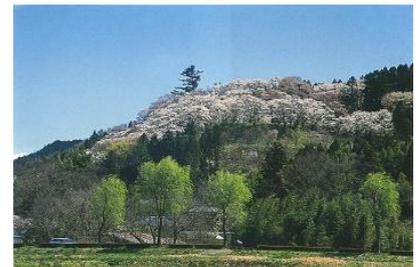
南北朝時代、那須氏は北朝方に属していたことから芦野氏も北朝方に属したと考えられます。芦野にある愛宕山では、北朝年号が記された「至徳年号在銘板碑」が出土していることからそのことがうかがえます。室町時代後半（戦国時代）に芦野氏は、那須氏や伊王野氏・大関氏とともに「那須衆」と称されました。14代芦野資豊は、那須氏の使者として古河公方や小田原の北条氏のもとを訪れており、16代芦野盛泰は独自に会津の蘆名氏や白川氏に書状を遣り取りしています。盛泰は天正18年（1590）の小田原合戦の際には小田原に参陣し、豊臣秀吉から本領安堵並びに「日向守」に任命されたといわれています。

### 【芦野氏関連史跡】

- ・芦野氏居館跡…葦野地頭の居館として平安末～鎌倉時代に成立したと考えられています。
- ・芦野氏旧墳墓…資方から18代資泰までの墓域。資泰は大坂冬・夏の陣に出陣しています。

## 2 近世（江戸時代）

江戸時代、芦野氏は3016石の交代寄合旗本に列せられ、芦野城を陣屋としました。交代寄合旗本とは参勤交代する旗本のことで、全国に約30家存在した珍しい旗本です。そのため、江戸の神田に屋敷がありました。歴代当主の中には文化人も輩出されています。19代芦野資俊は松尾芭蕉の門人として有名です。『おくのほそ道』では「郡守戸部某」と記されている人物です。また24代芦野資豫・25代芦野資勝は公卿芝山持豊から和歌の指南を受けています。



芦野氏陣屋跡

芦野氏は、戊辰戦争時に新政府側につきました。当時の当主芦野資愛は家老神田連左衛門を京都に派遣し、情報収集及び新政府側への恭順を示しました。また、芦野氏は戦闘に携わらず軍夫の徴発や派遣など主に後方支援を担当しました。

### 【芦野氏関連遺跡】

- ・芦野氏陣屋跡…室町時代後期に築城された芦野城を改築し陣屋とした。コウヤマキは築城記念と伝わるもので那須町の天然記念物

### 芦野氏略図

